藤沢ゆかりの人物紹介

「片山哲　平和と藤沢を愛した宰相」



藤沢ゆかりの人物紹介

藤沢市はウェルビーイングなまちづくりを目指しており、2025年国勢調査での人口・世帯数の増加や、鵠沼が「住み続けたい街」首都圏総合1位になるなど、暮らしやすいまちとして注目されています。

また、住民に愛される藤沢の風土は、海や自然などの空間的な魅力に加え、過去から現在に至るまで、この地で育まれてきた文化や歴史の蓄積によるところも少なくありません。

ゆかりの先人たちの功績に思いを馳せ、未来へつないでいくことが、今に生きる私たちに託された使命です。



芥川 龍之介氏



片岡 球子氏



船村 徹氏



かこ さとし氏

片山　哲　平和と藤沢を愛した宰相



第46代内閣総理大臣を務めた片山哲氏（1887～1978）は、生まれ育った和歌山県（現・田辺市）と同じように、山が近く、穏やかな海が広がる自然豊かな景色である藤沢市に深い愛着を寄せ、約半世紀に渡り片瀬に居を構えた。

日本で初めての社会党出身の内閣総理大臣であり、クリスチャンとしても知られた片山は、戦後の混乱期において数々の緊急政策を求められる中、判断の慎重さから「グズ哲」と揶揄された政治家でもあった。しかし第一党でありながらも過半数に届かないことから、連立政権となった不安定さの中でも、戦後の民主化や社会保障制度の礎を築いた確かな実績は、現在再評価されている。

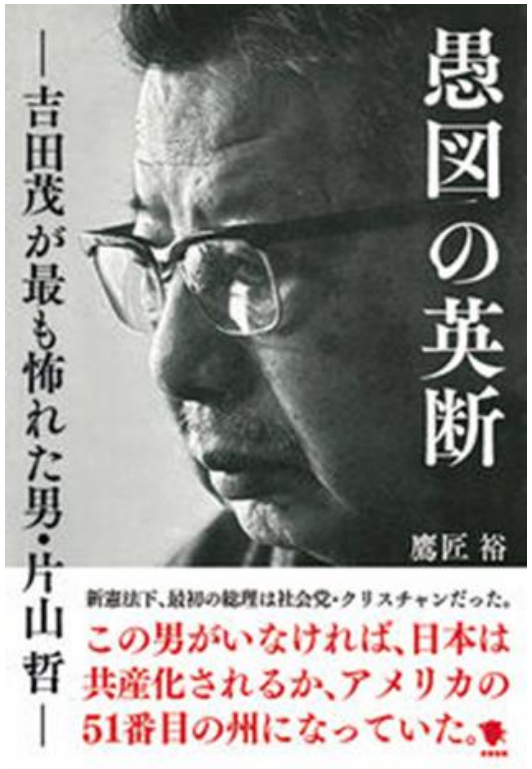


（昭和21年　片瀬の自宅にて）

□年表

1887（明治20）年　7月28日　和歌山県に生まれる
1912（明治45）年　東京帝大卒業　弁護士となる
1918（大正 7）年　簡易法律相談所開設
1924（大正13）年　藤沢市片瀬に住まいを定める
1926（大正15）年　社会民衆党結成に参加し、書記長となる
1930（昭和 5）年　初当選
1947（昭和22）年　6月　片山内閣発足
1948（昭和23）年　2月　片山内閣総辞職
1963（昭和38）年　落選、政界引退
1969（昭和44）年　藤沢市名誉市民
1978（昭和53）年　5月30日　藤沢市片瀬にて死去

特別講演会「今なぜ片山哲か－藤沢市名誉市民第一号・元首相からのメッセージ」



日時　２０２６年１２月２７日（日）午後２時～３時３０分

場所　藤沢市役所本庁舎７階　７－1会議室

講師　鷹匠裕氏（『愚図の英断』著者）

協力　一般財団法人片山哲記念財団

※参加無料　事前申込制（先着８０名）

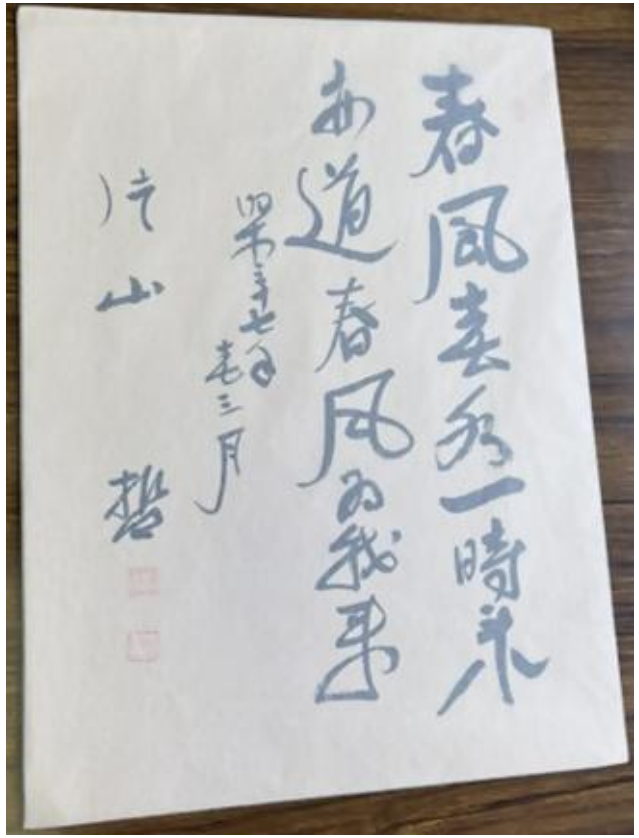
講師略歴

１９５６年、兵庫県生まれ。東京大学文学部卒業。大手広告代理店勤務を経て、２０１８年に「帝王の誤算　小説　世界最大の広告代理店を創った男」でデビュー。他の著書に「ハヤブサの血統」「聖火の熱源」などがある。



鷹匠 裕氏

「片山哲企画展　～吉田茂が最も怖れた男～」



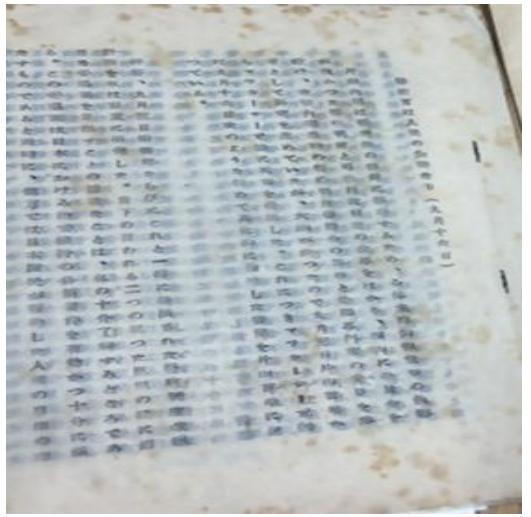
直筆　書作品

日時　２０２６年１２月２２日（火）～２７日（日）
午前１０時～午後７時（日曜のみ午後５時）

場所　藤沢市民ギャラリー（ODAKYU湘南GATE６階）

■片山哲の生涯
　クリスチャン、弁護士、政治家として生きた片山哲は、平和と民主主義のために生涯を捧げ、また唐の詩人である白楽天に傾倒し、文人宰相とも呼ばれました。

■片山内閣の功績
　「グズ哲」と揶揄された片山の知られざる功績や、ライバルとされた吉田茂とのエピソード、GHQのマッカーサー元帥から寄せられた信頼を、当時の資料で紹介します。



ダグラス・マッカーサー元帥からの書簡
「警察官は人民の公僕なり」